



**3/15** 平成29(2017)年  
3月15日<第45号> 発行：城南島連合会 制作：新聞委員会

〒143-0002 東京都大田区城南島2-2-8  
電話 03-5755-9390 URL [www.jounanjima.com](http://www.jounanjima.com)  
印刷：光写真印刷株式会社



明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いします。

最初にご報告いたしますが、城南島ではドライブドックの埋め立てをずっとやつており、整地が全部終わりまして、昨年末に埠頭内通路が完成しました。城南島野鳥橋、臨海トンネルが渋滞した時にこちらが逃げ道になります。ぜひご利用いただければと思います。また、野鳥橋の耐震補強というのがなかなか大変で、平成33年度の3月末までに本道路が整備されることは出来るようになります。では、成29年度3月になりあえず迂回道路の整備が終ります。大田区によりますと、平成33年度の3月末までに本道路が整備されることは出来るようになります。というわけで城南島はこれから大きく変わらうとしております。

ところで、1週間前の日曜日、月曜日に成人式が日本各地で行われました。テ

レビのニュースを見ていましたら、新成人に「日本の未来は明るいと思いませんか？」暗いと思いますか？」とインタビューしていましたが、私は自分が聞かれたらどう答えるだろうかと考えていました。お集まりの皆さんも20年後の日本は明るいか、暗いか、ちょっとと考えただきたいと思います。では、明るいと思う方、手を挙げてください。大体5対少しが各分野の近未来を見てみましょう。

経済面ではまず医療。こちらの分野においては日本は世界一と言つても過言ではないと思います。現在でも世界的富裕層が高度医療を受けるためにたくさん日本に来ています。これからもっと来ると思います。医療の分野は安心ですね。

では、自動車はどうでしょう。日本、アメリカ、ドイツ、これが自動車の3強ですが、電気自動車、プラグイン・ハイブリッド車、燃料電池車、この3つにおいては日本は間違いなくトップです。ただし、自動運転車においてはアメリカのグーグルが一步先をいついて、日本は僅差で追っています。しかし、日本人は努力家ですから2020年あたりには間違いなく完全自動運転車を出してくるのではないかでしょうか。三菱が

では、資源はどうでしょう。資源は日本にはほとんどない、石油もありません。ただ、日本は国土の面積においては世界で61番目ですが、領海と排他的經濟水域（EEZ）を合わせれば世界で6位になります。この領海、排他的經濟水域にタンハイドレートとか、石油、レアアース、レアメタルがたくさん含まれています。これを取り出す技術があれば日本は

このように見てきまして、私が強調し



## 平成二十九(2017)年新年賀詞交歓会開催

城南島連合会会長 杉崎武春

「MRJ」を開発し、いろいろトラブル

もありましたけれども、今後アジア、アフリカ、南米の各地で小型ジェット旅客機の需要は大きくなっています。航空機産業は幅広いので日本経済を牽引する新たな産業となっていくのではないかと思います。次は、ロボットです。日本は世界をリードする立場にあるといつていいでしよう。そして、ロケット。

超小型ロケットは先日失敗しましたけれど、商業用小型ロケットでは世界トップレベルにあります。「下町ロケット」でも描かれたように、大田区の高度な部品技術は抜群であります。

では、資源はどうでしょう。資源は日本にはほとんどない、石油もありません。

ただ、日本は国土の面積においては世界で61番目ですが、領海と排他的經濟水域（EEZ）を合わせれば世界で6位になります。この領海、排他的經濟水域に

恒例の新年賀詞交歓会は多くの来賓を迎えて、1月17日火曜日、大森東急REIホテルで開催された。杉崎武春城南島連合会会長は、日本の未来に不安を抱く人も多いが、いろいろな分野の日本の現状と可能性をみると、日本の未来は明るいと確信すると述べ、続いて松原忠義大田区長、平将明衆議院議員、舟久保利明大田工連会長、鈴木あきまさ都議会議員が挨拶し、今西隆夫商工中金大森支店支店長の音頭で乾杯して懇親会が始まりました。

日本の将来は決して暗くな、

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いします。

最初にご報告いたしますが、城南島ではドライブドックの埋め立てをずっとやつており、整地が全部終わりまして、昨年末に埠頭内通路が完成しました。城南島野鳥橋、臨海トンネルが渋滞した時にこちらが逃げ道になります。ぜひご利用いただければと思います。また、野鳥橋の耐震補強というのがなかなか大変で、平成33年度の3月末までに本道路が整備されることは出来るようになります。では、

成29年度3月になりあえず迂回道路の整備が終ります。大田区によりますと、平成33年度の3月末までに本道路が整備されることは出来るようになります。というわけで城南島はこれから大きく変わらうとしております。

ところで、1週間前の日曜日、月曜日に成人式が日本各地で行われました。テ



## 城南島連合会イベント あ・ら・か・る・と

### 小学生親子25組の「産業のまち発見隊」 城南島の3工場に来訪

小学校4~6年生の親子25組を対象とする人気イベント「産業のまち発見隊」（大田区、大田工業連合会共催）は、一昨年から七、八月に2回開催されています。昨年8月25日、2回目の発見隊は城南島の3工場を訪問した。まず、日本熱管工業（株）でパイプの旋盤加工や鉄の溶接加工を見学。次に（株）井上製作所で金型の自動加工など精密機器の金属加工を、最後に高輪デーゼル（株）でディーゼル噴射ポンプ、ブレーキ、パワーステアリング、カーエアコン、冷凍車の冷凍装置などのメンテナンスをする工具や部品を見学した。大田区のモノづくりの現場に触れて小さな瞳は驚きと感動に輝いていた。



日本熱管工業株式会社



株式会社井上製作所



高輪デーゼル株式会社

### 第34回城南島連合会秋季ゴルフコンペ開催 連合会事務局長・松本章さん優勝!!



2016年11月16日、紫カントリークラブ、すみれコースで第34回城南島秋季ゴルフコンペが開催され、事務局の松本章氏が優勝しました。松本さんは優勝の喜びを次のように語っています。

「当日は晴天で風もほとんどなく、ゴルフには最高の天気でした。私は1組目で城南島連合会会長の杉崎社長、東京金商㈱の中島社長、ヨコハマタイヤネットワークサービス㈱の正好社長と一緒に総合させていただきました。

私のゴルフ歴は、本格的に始めて6年余り。この6年間で何度もゴルフを止めようと思ったか知れません。ドライバーが良ければアイアンが駄目、アイアンが良ければドライバーが駄目、その挙句、シャンクの連発。少し良くなれば、フック・スライスといった具合でまともに飛んだことが無い日々が続いていました。そんなある日、シングルプレーヤーから右足首・右膝の使い方を教わり練習しますと、今までとは違う感触があり、週に2~3回打ちっぱなしで練習しました。

半年余りでこのコンペに参加し、ハンディも沢山いただき何とか優勝することが出来ました。今回の優勝は私にとって大変嬉しく、練習の成果が出たと感じています。ご一緒にさせて頂いた杉崎会長、中島社長、正好社長には、プレー途中で崩れかかった時に励ましていただき気を入れなおすことが出来ました。皆さんのおかげで優勝できたと感じております。これからも練習に励みがんばりますので、よろしくお願ひいたします。」

### 編・集・後・記

\* 新聞委員全員が同じ気持ちだと思いますが、読者の皆さんに少しでも新しい知識・情報を提供出来ればという思いで、毎号の制作に臨んでいます。  
\* 今回訪問した（株）小野運送店様は創業なんと120年。しかし、日本には創業200年を超える企業が3,146社もあり、世界最多らしい。しかも7社は1,000年以上の歴史をもち、世界最古の企業トップ3はすべて日本企業だ。  
\* 本業に関連するJIS規格の編集作業に追われ、四苦八苦しています。

す。これからはなるべく委員会に参加出来るよう時間をつくりたいと思っています。  
\* この度、城南島連合会の新聞委員に任命されました。先輩委員皆様の足を引っ張ることなく、連合会の皆様に情報発信していきたいです。  
\* 城南島タイムズの制作にかかわってから7年余り、スタッフも紙面も城南島の変化と共に進化してきた。これからもより良い方向に城南島もタイムズも進んでいければと思います。  
中澤勇一郎



## 国際化が進むこれからは立地条件の素晴らしい大田区の時代

国际 化が進むこれからは立地条件の素晴らしい大田区の時代

大田区長 松原忠義

明けましておめでとうございます。

先ほど杉崎会長から20年先の日本が明るいか、暗いかという質問がありました。それはともかく、大田区は立地条件がとても素晴らしいと思います。今



まで大田区は蒲田と大森の2地区を中心核に据えてやってきましたが、国際化が岱いふ進んできましたので、ここに羽田空港を加え、同時に臨海部もこれからものすごく重要な地域になつてくるに違いないと思っています。

以前から申し上げているんですが、東京で脚光を浴びる地域は、終戦後にまず上野から始まって、東京オリンピックの時は東京駅、バブルの時は新宿、そして今は品川まであります。上から下つと下がつてきて、次は必ず飛行場のある大田区だと思って街づくりを進めておりまます。皆さんが城南島に移つて来られたのは高度成長期で公害が盛んに言われていた時期でもありましたが、一つひとつ的企业を見ると大変しっかりした企业が来てくれました。しかし、世の中が大きく変わつてきていますので、今は自分の会社だけではなくて、全体で考えていく時代に入つて来ているように思います。その中で私どもは30年来的課題であつ

たいのは、日本のDNAの中に不安遺伝子というものが多くの含まれているということです。不安遺伝子というのはセロトニン・トランスポーターと言うんですが、これを日本人が多くもつてているんですね。それで、私たちはいつも将来に不安を感じるので、先に手を打つたり、一所懸命努力をする。これは悪いことではないでしょか。ですから私は将来の日本は経済の面では間違いなく明るい、安心していいのではないかと思います。

日本は発展してきたとも言えるのではなれば農業は何でしょうか。たとえば農業ですが、農業従事者の平均年齢

は60歳を超え、農業人口がどんどん減つてきていますから、早く技術を継承しなければ農業は危ういですね。しかし、いざな国があります。もしも沖縄の米軍が撤退したら、中国は尖閣諸島を取りに来るかもしれません。その時には日本は日本だけで領土、財産を守らなければならなくなります。しかし、日本の現在の法律では、こちらから先に攻撃することが出来ません。戦争行為にはポジティブリストとネガティブリストというのがあります。しかし、日本の現在の法律では、こちらから攻撃してはいけないとして、「捕虜を虐待する」「人民の財産

を奪う」、これを守ることがネガティブリスト。それに対してもポジティブリストにとっては、「相手から発砲されてしまつて攻撃することが出来る」というものです。世界でも日本だけがこのポジティブリストの法律で動いています。これで自衛隊員の親御さんたちは可哀想です。何とか早く日本もネガティブリストに変えてほしいと思います。

少し暗い話になつてしましましたが、私は20年後の日本は必ず明るいと確信しております。日本の将来が暗いと思われておらず、大半の方の理由は年金問題です。では自衛隊員の親御さんたちは可哀想です。何とか早く日本もネガティブリストに変えてほしいと思います。

20年後の年金がどうなるかといいますと、団塊世代のいちばん最後の人は現

た「蒲蒲線」を何とか実現することに向けてやつていくつもりです。同時に羽田空港の跡地に産業交流施設を作ることも、関係各方面とお話ををして進めております。それらの事業はこの5月期に決めさせていただき、オリンピックの時にだいに完成という形になつてきます。臨海部はオリンピックが3年後にきますので「新スポーツ健康ゾーン」にしていきますが、国際化については羽田空港だけでは足りませんので、臨海部をどういうふうに活かしていくのか、自然と環境を守りながら産業の集積地としてどのようにするか、ということが大事なテーマになつてくると思います。

大田区のモノづくりを守ることが、区長としての私の使命であります。大田区は、今年ちょうど70周年を迎えたので、一層気合を入れて大田区、城南島の発展ために頑張つていく覚悟ですのでよろしくお願い申し上げます。

## ポテンシャルが高い大田区に期待したい

衆議院議員 平 将明

明けましておめでとうございます。

国政に送り出していく大田区になります。今は衆議院では環境委員会の委員長を務め、自民党では成長戦略を作させていただいている。松原区長から経済のお話をありました。私が少し経済についてお話しさせていただきたいと思います。アベノミクスが4



## 懸念はキラリと光る技術で越えよう

都議会議員 鈴木あきまさ

明けましておめでとうございます。

今年も「ふるさとの浜辺公園」で初日の出を迎えました。昭和島の工場の上に大きなダムのよう太陽が上つてくるのを見まして、今年はいい年になるな、いや今年こそいい年にしなければいけない、と決意を新たにいたしました。今年はまず、羽田跡地の産業交流施設をどんな内容で作つていくのかということがありました。羽田跡地の産業交流施設をどんな内容で作つていくのかということがありました。羽田跡地の産業交流施設をどんな内容で作つていくのかといつてはかなり多様性のある、エンジニアがいくつもついている日本経済になつていくと確信しています。



## 上に立つ人間がしつかりすることなどが大切

大田工業連合会会長 舟久保利明

明けましておめでとうございます。足下を少し振り返つてみたいと思います。と言いますのは、私は中小企業同友

年目に入りました。大胆な金融緩和政策、機動的な財政政策、民間の投資を喚起する成長戦略が三本の矢です。第一の矢は効きましたが、もうほぼ出し尽くしたという感じです。第二の矢ですが、出のほうは2019年に消費税を上げなくてはいけないので、それなりのボリューム感で財政政策はやり、入のほうは消費税を8%から10%に上げられるかどうかといふことがポイントになります。そして、第三の矢ですが、中身は自由貿易の推進と規制改革です。自由貿易の推進はTPPが目玉だったので、特朗普さんが大統領になりましたから、これは1年間お休みです。各国は必要な法律整備を着実に進めていく、頃合いを見て特朗普さんと話をするということになります。そして、そうすると、アベノミクスで残つているところは規制改革ぐらいです。昨年の9月に自民党に経済構造改革と働き方改革の2つの特命委員会ができまして、そ

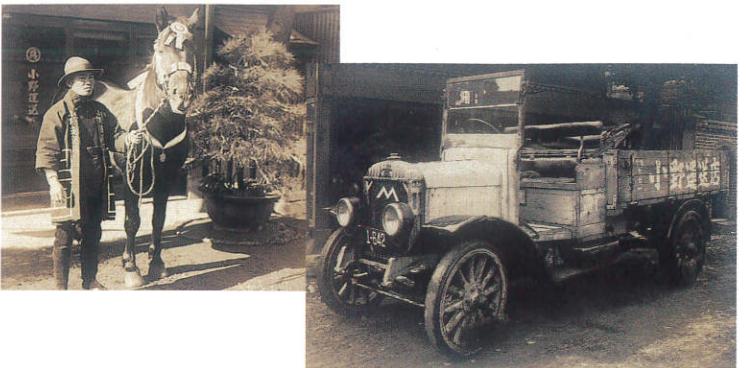
会に関わったことがちょっとありました。その時に経営指針の会というのに入りました。これは今日お集まりの皆さまには釈迦に説法になつてしまふのです。そこで言われておきましたのは、企業というものは基本的に人に負けない技術を何か一つ持つこと、またそこで働いている人がみんな幸せになり、社会に認められようのような会社になるというのが、企業の大筋の方針、あるいは理念だということです。ただし、これを実現するには基本的にはトッパダウン、上から行うといふことです。ここにいらつしやる皆さんは会社を経営されていますから、そういう理念を十分に実現されてきた方ばかりだと思います。そうでなければ、これま

でリーマンショックをはじめ、いろいろなことに耐えてこられるはずはなかつたと私は思います。社長さんたちはそれだけ頑張つていらっしゃる。働いている人たちとは、命令されなければ動かないというわけではないんです、やはり社長さんによつてどううにでもなるということがあるわけですね。高校のスポーツを例にしますと、いろいろな大会がありまして、私は日比谷高校にいたんですけど、ラグビーでベスト8に入りました。うちの息子は神奈川県の高校ですが、数年前にサッカーでベスト4に入りました。そういう成績を挙げるために、何が大事かというと、結局、指導者なんですね。上に立つ人間がいかに

しっかりとやるかということなんですね。会社でいえば、社長によつてどうにでもなるし、また社長にしかできないこともあります。

今年は城南島連合会、大田工業連合会を中心として、お集まりの皆さんのが主体的に動いていく年になつていけばいいなと思っています。大田工業連合会はいろんな会社で構成されていますけれど、皆さんと一緒に輪を広げて、その輪のつながりの強さをもつと強くしていきたいと思います。この一年、何かと社会は不安定ですけれども、中にいる人間さんは不安定ですけれども、中には安定感をもつてやつていただいいなと思います。





左は明治の創業期に活躍した荷馬車。小野運送では今でも馬への感謝を込めて、馬頭観音を祀り、毎年2月にはお祭りをしている。右は昭和初期のころに使われていた自動車。この車を見たいという顧客もあるそうだが、保存はされていない。



株式会社小野運送店  
産廃営業部部長 里吉正人氏

中澤・御社は創業一二〇年を越えるとい  
う大変歴史のある会社ですね。  
里吉部長・明治29年、1896年の創  
業です。個人商店、学校法人を別にし  
て、品川区内で100年以上事業を続け  
ます。

中澤・城南島は倉庫になるんですか?  
里吉・ある形のものを分類、処理するこ  
となんですが、塗料は液体ですから分け  
ることが出来ません。そこで、混練固化  
という方法がありまして、水性の塗料と  
廃粉体と薬剤を混ぜて練ると固まつてペ  
レット状の、一種の燃料ができます。こ  
れはセメント会社の原料の一部になるん  
です。全部ゴ  
ミから再生さ  
れたことにな  
ります。

中澤・中間処理とは?  
里吉・ある形のものを分類、処理するこ  
となんですが、塗料は液体ですから分け  
ることが出来ません。そこで、混練固化  
という方法がありまして、水性の塗料と  
廃粉体と薬剤を混ぜて練ると固まつてペ  
レット状の、一種の燃料ができます。こ  
れはセメント会社の原料の一部になるん  
です。全部ゴ  
ミから再生さ  
れたことにな  
ります。

中澤・城南島の事業所は社員さんが常勤  
されるようになりますか?  
里吉・当初は荷物が入った時にドライ  
バーが出入りしますが、設備が全部でき  
ますと、特に中間処理は絶対的に人がい  
ないセキュリティ面でも法律的にもダメ  
なので、常駐が必要になります。



大田区城南島2-22-17の工事現場。奥の土地を掘り下げて地盤  
強化作業が行われている。事業開始は今年7、8月の予定。



信用第一、品質第一。ドライバー教育には特に力を入れています。

## 今夏、城南島に拠点を新設する、品質の良さで信頼を集め る老舗運送店。主力業務は塗料の運送と産業廃棄物の中間処理

株式会社小野運送店城南島事業所（仮称）

連載・城南島の企業——⑤

少し掘り下げて地盤補強をしています。

その後に、小さい倉庫を建てるますが、建

業は風が強いとリスクが大きいので、建

物を囲えるようなものを作ります。

これが終わった時点での中間処理の設備をし

ます。危険物と中間処理の施設が、それ

ぞの確認をとらないと次に進めないの

で少し時間が掛かります。すべての事業

がスタートするのは7、8月ごろになると

思います。

中澤・御社の業務ですと従業員さんも大

変ですね。

里吉・事故の他に漏洩も大問題ですの

で、ドライバーの社員教育は厳しくやつ

ております。ドライバーは若手が欲しい

のですが、仕事が厳しいこともあります。

小型免許しか持っていない若い人には、会社が大型の免許を取りに行

かせるようにしています。フォークリフ

ト、危険物取扱のライセンスも必要にな

ります。また、100%ではありません

が、2年ほど前から危険物取扱はドライ

バー全員に取らせようと決めて、現在

丙種を合わせて70%のドライバーは危険

物取扱の免許を取得しております。今後

も100%を目指していきます。



告）。避難先周辺の状況確認（警戒隊・通報連絡隊・調達管理が確認作業）。避難誘導隊より移動中に怪我人発生報告。報告も行う。通報連絡隊より本部への報告は、トランシーバーにて行う。通報連絡隊より火災発生の報告（通報連絡隊は消防署への連絡も行い、その結果長より救護隊へ怪我人の収容指示。担架持参にて収容に向かう。

消防隊へスタンダードパイプにての消火指示。消火隊は歩道上の消火栓を開け、スタンダードパイプにて放水を行う。指揮隊長は火隊長へ屋内消火栓での消火困難と判断。消火栓での操作の後、中沢乳業・倉庫設置の屋内消火栓を使用して消火実施。操作は数名に体験させる。

救護隊怪我人収容報告、消防隊火災鎮

火報告、調達管理防災備蓄品確認報告を行なう。全員集合後、大森消防署員の指導にてAED操作含む救命措置訓練実施。評。終了後、防災備蓄品のアルファ米にて炊き出し訓練。試食。総合防災訓練は12時終了。

最後に連合会会長、消防署指導員の講評。初めての総合訓練であつたため、組織全體の行動や各隊の行動では、まごつく場面も多かつたが、体験することで必要な訓練でした。

今回の訓練では、防災組織正規メンバーが参加出来なかつた隊には、一時的に他の理事に交代していただき行いました。また、中沢乳業（株）の多くの社員の皆さんのが参加、及び施設の提供がありました。紙面を借りて御礼申し上げます。次回の訓練では更に多くの参加者があることを期待しています。

事項の認識や不具合点も見つかり、今後も改善を加えて訓練することで非常時の行動がスマーズにとれるようになると確信できる訓練でした。

今回の訓練では、防災組織正規メンバーが参加出来なかつた隊には、一時的に他の理事に交代していただき行いました。また、中沢乳業（株）の多くの社員の皆さんのが参加、及び施設の提供がありました。紙面を借りて御礼申し上げます。次回の訓練では更に多くの参加者があることを期待しています。